

令和4年1月25日

各位

保健医療福祉推進課長 小泉 輝嘉

地区連携医事業全体会の実施について（依頼）

平素より、日頃から、世田谷区における在宅医療・介護連携推進事業の一環として、地区連携医事業にご協力いただきまして、厚くお礼申し上げます。

区では、各地区での地区連携医事業の実施状況の共有等を目的に、2月に全体会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み、令和3年度の地区連携医事業全体会につきましては、集合形式での実施から、各地区においての多職種での課題検討へ実施方法を変更させていただきました。

今回、実施していただく課題検討のテーマや実施目的等は下記のとおりです。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、本取組みの趣旨をご理解の上、ご協力賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

記

1. テーマ

「最期まで住み慣れた自宅で暮らせる地域」について、あらためて考える
～「世田谷区居宅介護支援事業所等実態調査」から～

2. 今回、課題検討を依頼する背景・目的等

世田谷区では、医療と介護の両方を必要とする高齢者などが、住み慣れた地域で医療や介護を受けながら安心して療養生活を送ることができるよう、在宅医療・介護連携推進事業の様々な取組みを進めています。区では、この取組み内容の更なる充実を図るため、今年度、世田谷区における在宅療養に関する現状の把握・分析、課題の抽出及び対応策の検討等を行っており、「世田谷区居宅介護支援事業所等実態調査」は、この取組みの一環として実施したものです。

今回、地区連携医事業においても、本調査結果をもとに、現状の地域で抱える課題等についてあらためて見直すとともに、多くの方が自宅で療養できるようにするためには、地域でどのような取組みができるかを、各地区でご検討いただきたいと考えています。今回いただいたご意見は、今後、世田谷区医療連携推進協議会における協議・検討等を通じて、世田谷区の在宅医療・介護連携推進事業の更なる充実に向けて活用してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

【担当】保健医療福祉推進課事業担当

椎名・吉田

03(5432)2649